



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

東

上場会社名 日産化学株式会社

上場取引所

コード番号 4021

URL <https://www.nissanchem.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 八木 晋介

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 野村 浩司

(TEL) 03-4463-8401

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	195,435	11.8	44,984	9.5	46,513	7.4	35,043	10.5
2025年3月期第3四半期	174,832	12.6	41,080	22.9	43,326	23.6	31,708	22.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 41,371百万円( 35.6%) 2025年3月期第3四半期 30,498百万円( 6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	259.10	—
2025年3月期第3四半期	230.27	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	340,144	245,545	71.1
2025年3月期	330,763	236,180	70.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 241,840百万円 2025年3月期 233,291百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	70.00	—	104.00	174.00
2026年3月期	—	70.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	110.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,200	8.3	59,000	3.8	59,000	1.7	44,000	2.2	328.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	135,800,000株	2025年3月期	136,800,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,284,883株	2025年3月期	517,787株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	135,251,552株	2025年3月期3Q	137,701,777株

※当社は、2019年7月30日の取締役会決議に基づき、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。期末自己株式数に含まれる当該自己株式数は、当第3四半期連結会計期間末において、132,200株です。また、期中平均株式数から控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当第3四半期連結会計期間において、133,633株です。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算説明資料の入手方法)

2026年2月9日(月)に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。また当日開催する機関投資家・アナリスト向け電話会議の説明内容(音声、トランスクリプト)については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
(4) 利益配分に関する基本方針 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）の世界経済は、人工知能を含むテクノロジー分野への投資拡大や各国の財政・金融政策により下支えされましたが、一部の主要国における貿易政策の変更などを背景に、依然として不透明な状況が継続しました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品セグメントは、基礎化学品、ファインケミカルともに増収となりました。機能性材料セグメントは、半導体材料が好調に推移し、大幅な増収となりました。農業化学品セグメントは、国内、海外向け農薬ともに増収となりました。ヘルスケアセグメントは、減収となりました。

この結果、当期間における業績は以下の通りとなり、売上高、各利益ともに前年同期及び11月に発表した計画数値を上回りました。

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

	2025年3月期 第3四半期 (実績)	2026年3月期 第3四半期 (実績)	前年同期比 増減	2026年3月期 第3四半期 (計画数値) (注)	計画数値比 増減
売上高	174,832	195,435	+20,603	189,600	+5,835
営業利益	41,080	44,984	+3,904	41,600	+3,384
経常利益	43,326	46,513	+3,187	41,200	+5,313
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31,708	35,043	+3,334	31,100	+3,943

(注) 計画数値は2026年3月期第2四半期決算説明資料(2025年11月10日発表)P10に記載

セグメント別概況は以下のとおりであります。

## 化学品セグメント

基礎化学品では、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）、尿素・「アドブルー®」（高品位尿素水）が増収となりました。ファインケミカルでは、ファインオキシコール（化粧品原料等）が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は289億49百万円（前年同期比8億46百万円増）、営業利益は2億38百万円（同33百万円増）となりました。計画数値(注)比では、売上高は2億円の下ぶれ、営業利益は計画通りとなりました。

\* アドブルー®はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

(注) 計画数値は2026年3月期第2四半期決算説明資料(2025年11月10日発表)P44に記載

## 機能性材料セグメント

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶配向材用ポリイミド）が増収となりました。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC®）及び多層材料（OptiStack®）が顧客の稼働好調を受けて大幅な増収となりました。無機コロイドでは、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は829億91百万円（前年同期比87億96百万円増）、営業利益は267億67百万円（同42億59百万円増）となりました。計画数値(注)比では、売上高は12億円、営業利益は13億円の上ぶれとなりました。

\* ARC®, OptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

(注) 計画数値は2026年3月期第2四半期決算説明資料(2025年11月10日発表)P44に記載

#### 農業化学品セグメント

フルララネル（動物用医薬品原薬）は増収となりました。国内向け農薬は、米価高騰に伴う需要の高まりを背景に、「アルテア」（水稻用除草剤）や「ベルダー」（水稻用除草剤）が伸長しました。海外向け農薬は、「ライメイ」（殺菌剤）が好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は614億71百万円（前年同期比76億82百万円増）、営業利益は169億97百万円（同11億60百万円減）となりました。計画数値(注)比では、売上高は24億円、営業利益は8億円の上ぶれとなりました。

（注）計画数値は2026年3月期第2四半期決算説明資料(2025年11月10日発表)P44に記載

#### ヘルスケアセグメント

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬は増収となりました。「ファインテック」（課題解決受託事業および共同開発型事業）は減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は39億71百万円（前年同期比4億53百万円減）、営業利益は10億61百万円（同5億91百万円減）となりました。計画数値(注)比では、売上高は2億円、営業利益は2億円の上ぶれとなりました。

（注）計画数値は2026年3月期第2四半期決算説明資料(2025年11月10日発表)P44に記載

#### 卸売セグメント

当セグメントの売上高は945億21百万円（前年同期比74億60百万円増）、営業利益は29億25百万円（同2億23百万円減）となりました。計画数値(注)比では、売上高は46億円、営業利益は1億円の上ぶれとなりました。

（注）計画数値は2026年3月期第2四半期決算説明資料(2025年11月10日発表)P61, 62に記載

#### その他のセグメント

当セグメントの売上高は225億1百万円（前年同期比16億37百万円増）、営業利益は10億3百万円（同8億68百万円増）となりました。

### (2)財政状態に関する説明

#### （資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権が減少しましたが、投資有価証券と現預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比93億81百万円増の3,401億44百万円となりました。

負債は買入債務が増加したことなどから、前連結会計年度末比16百万円増の945億98百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比93億64百万円増の2,455億45百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比0.6ポイント増加し、71.1%となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、518億19百万円の収入（前年同期は473億38百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、153億36百万円の支出（前年同期は133億49百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払、自己株式の取得による支出などにより、314億51百万円の支出（前年同期は273億49百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額の増加額15億53百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して65億85百万円増加しており、340億40百万円（前年同期は292億2百万円）となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、前回発表(2025年11月10日)の業績予想から変更はありません。

(4)利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。

なお、2025年4月に始動した中期経営計画「Vista2027」のStageⅡでは、2025年度以降は配当性向を55%以上、総還元性向を75%以上とすることを目標としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,454	34,040
受取手形、売掛金及び契約資産	89,131	76,979
商品及び製品	57,505	62,405
仕掛品	19	304
原材料及び貯蔵品	22,624	22,022
未収入金	2,146	1,634
短期貸付金	2,257	1,022
その他	9,277	10,581
貸倒引当金	△64	△69
流動資産合計	210,352	208,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,171	92,279
減価償却累計額及び減損損失累計額	△55,383	△57,061
建物及び構築物（純額）	33,788	35,217
機械装置及び運搬具	176,436	182,480
減価償却累計額及び減損損失累計額	△155,323	△160,164
機械装置及び運搬具（純額）	21,113	22,316
工具、器具及び備品	45,732	49,563
減価償却累計額及び減損損失累計額	△41,561	△42,979
工具、器具及び備品（純額）	4,170	6,583
土地	8,867	8,872
リース資産	123	152
減価償却累計額	△10	△20
リース資産（純額）	113	131
建設仮勘定	4,370	3,428
有形固定資産合計	72,424	76,550
無形固定資産		
ソフトウェア	3,511	3,366
その他	9,951	9,526
無形固定資産合計	13,463	12,892
投資その他の資産		
投資有価証券	24,353	31,071
長期貸付金	133	120
繰延税金資産	567	633
退職給付に係る資産	4,782	4,783
その他	4,742	5,224
貸倒引当金	△56	△55
投資その他の資産合計	34,523	41,778
固定資産合計	120,411	131,221
資産合計	330,763	340,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,877	23,723
短期借入金	19,987	20,925
コマーシャル・ペーパー	8,996	8,994
1年内返済予定の長期借入金	514	448
未払法人税等	9,957	2,830
賞与引当金	2,576	874
関係会社事業損失引当金	213	12
その他	17,096	19,065
流動負債合計	79,218	76,874
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	977	579
繰延税金負債	1,063	3,807
役員株式給付引当金	264	256
退職給付に係る負債	542	636
その他	2,515	2,445
固定負債合計	15,363	17,724
負債合計	94,582	94,598
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	192,928	199,689
自己株式	△2,590	△6,210
株主資本合計	222,893	226,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,035	10,409
為替換算調整勘定	1,788	3,979
退職給付に係る調整累計額	1,573	1,415
その他の包括利益累計額合計	10,397	15,805
非支配株主持分	2,889	3,704
純資産合計	236,180	245,545
負債純資産合計	330,763	340,144



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	174,832	195,435
売上原価	90,426	101,400
売上総利益	84,406	94,034
販売費及び一般管理費	43,325	49,049
営業利益	41,080	44,984
営業外収益		
受取利息	170	125
受取配当金	1,078	1,340
持分法による投資利益	469	496
為替差益	952	450
その他	1,116	669
営業外収益合計	3,787	3,083
営業外費用		
支払利息	490	291
固定資産処分損	511	846
社債発行費	54	2
休止損	249	127
その他	235	285
営業外費用合計	1,541	1,554
経常利益	43,326	46,513
特別利益		
条件付対価受入益	821	—
特別利益合計	821	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	44,148	46,513
法人税、住民税及び事業税	11,762	9,648
法人税等調整額	592	1,247
法人税等合計	12,355	10,895
四半期純利益	31,792	35,618
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	575
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,708	35,043

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	31,792	35,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△542	3,373
為替換算調整勘定	△643	2,537
退職給付に係る調整額	△107	△158
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,293	5,753
四半期包括利益	30,498	41,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,755	40,450
非支配株主に係る四半期包括利益	△256	920

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	44,148	46,513
減価償却費	10,079	11,061
条件付対価受入益	△821	—
のれん償却額	24	91
受取利息及び受取配当金	△1,249	△1,465
支払利息	490	291
固定資産処分損益 (△は益)	511	846
売上債権の増減額 (△は増加)	16,343	12,905
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,088	△3,839
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,432	3,200
その他	△2,896	△3,729
小計	56,973	65,874
信託財産の交付による受取額	—	407
利息及び配当金の受取額	2,450	2,353
利息の支払額	△482	△305
法人税等の支払額	△11,602	△16,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,338	51,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△119	△185
投資有価証券の売却による収入	1	54
子会社株式の売却による収入	276	—
関係会社株式の取得による支出	—	△1,582
有形固定資産の取得による支出	△10,892	△11,961
有形固定資産の除却による支出	△475	△583
無形固定資産の取得による支出	△1,753	△1,204
条件付対価の決済による収入	2,633	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	408	1,257
長期前払費用の取得による支出	△645	△139
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,921	—
その他	137	△989
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,349	△15,336
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,338	1,075
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	10,993	△2
長期借入金の返済による支出	△317	△464
社債の発行による収入	10,000	—
配当金の支払額	△22,681	△23,636
非支配株主への配当金の支払額	—	△105
自己株式の取得による支出	△10,000	△8,299
その他	△5	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,349	△31,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△192	1,553
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,447	6,585
現金及び現金同等物の期首残高	22,738	27,454
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	17	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,202	34,040

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月30日の取締役会にて決議された「株式給付信託(BBT)」において、2025年4月25日および2025年7月25日付で対象者へ7,200株の株式給付を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が34百万円減少しております。また、2025年3月6日および2025年5月15日の取締役会決議に基づき、1,774,100株の自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が8,298百万円増加しております。

また、2025年10月29日の取締役会決議に基づき、2025年11月10日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金が4,645百万円、自己株式が4,645百万円減少しております。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった日本ポリテック株式会社については、連結財務諸表作成にあたり、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた連結会社間の重要な取引の連結上必要な調整を行っていました。当第3四半期連結累計期間より、当該連結子会社の決算日を連結決算日と同一の3月31日に変更したことから、当連結会計年度の連結財務諸表作成にあたっては、2025年1月1日から2025年3月31日までの損益は連結損益計算書を通して調整する方法を採用し、当連結会計年度における連結対象期間は2025年1月1日から2026年3月31日までの15カ月間となります。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	ヘルス ケア 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高(注)1	18,669	55,088	42,390	4,332	66,586	7,137	194,206	△19,374	174,832
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,433	19,105	11,398	92	20,474	13,726	74,231	△74,231	—
計	28,103	74,194	53,789	4,425	87,061	20,863	268,437	△93,605	174,832
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	205	22,508	18,158	1,653	3,149	134	45,809	△4,729	41,080

(注) 1. 報告セグメントの外部顧客に対する売上高は、代理人取引となる売上高についても総額で算定しております。代理人取引となる売上高を純額とするための調整は、調整額に含めております。

2. 調整額は以下のとおりです。

(1) 外部顧客に対する売上高の調整額△19,374百万円には、代理人取引消去△19,593百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高219百万円が含まれております。

(2) セグメント利益の調整額△4,729百万円には、セグメント間取引消去△326百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高220百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△4,622百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	ヘルス ケア 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高(注)1	19,195	58,811	50,777	3,880	71,688	10,365	214,719	△19,283	195,435
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,754	24,180	10,693	91	22,832	12,135	79,688	△79,688	—
計	28,949	82,991	61,471	3,971	94,521	22,501	294,407	△98,971	195,435
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	238	26,767	16,997	1,061	2,925	1,003	48,994	△4,010	44,984

(注) 1. 報告セグメントの外部顧客に対する売上高は、代理人取引となる売上高についても総額で算定しております。代理人取引となる売上高を純額とするための調整は、調整額に含めております。

2. 調整額は以下のとおりです。

(1) 外部顧客に対する売上高の調整額△19,283百万円には、代理人取引消去△19,326百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高42百万円が含まれております。

(2) セグメント利益の調整額△4,010百万円には、セグメント間取引消去331百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高42百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△4,383百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、一部の全社費用の配賦方法を見直しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の配賦方法に基づき作成したものを記載しております。